

メーデーのまとめ



宮川モールでの集会



大島良満氏



組合旗を先頭にパレード



最後尾の瀬教労の旗

5月1日、宮川モールで恒例の尾張東メーデーの集会71名が開催されました。

大島氏の話によると、瀬戸地域は田原市と共に名古屋に次いで県下でメーデーが2番目に開催された所。その伝統を引き継いで2021年度も整然と行われました。

東京五輪開催をめぐり、中止を求める声が強まっています。コロナ感染は都市部だけではなく、全国で猛威をふるっています。遅れたワクチン接種も一部地域で始まったばかりで、現場では看護師や医師らの人手不足が指摘されています。にもかかわらず政府は五輪のために医療従事者の大量派遣を請うて出しました。

オリンピック中止のネットの署名を呼びかけた宇都宮氏は「不足する医療従事者を五輪に割くことは、コロナ禍で疲弊した医療関係者をさらに苦しめ、五輪にかかわる人々の命も危険にさらす。『平和の祭典』という五輪の理念にも反する」と指摘しています。さらに、「コロナ禍で若者、女性、外国人の困窮が増えた。2008年から09年に日比谷公園で開かれた『年越し派遣村』とは比べものにならないほど貧困が進んだと実感した」と宇都宮さんは述べています。また、「人々の命と暮らしを守るのが政府・自治体の本義なら、一刻も早く開催中止を宣言し、窮乏にあえぐ人々に資源を割くべきではないか」と語っています。

こうした声は全国で広がっています。「もう、医療は崩壊しているのに、オリンピックをやる意味がわからない」「国民の犠牲の上で開かれる祭典になります。早く目を覚まして」「オリンピック中止こそ最大のコロナ対策」国民の7割が中止を求めているという報道もあります。東京五輪にはすでに総額1兆6000億円が投じられました。

東京都内の園児や生徒の約8割にあたる約81万人に東京五輪・パラリンピック競技を観戦させるという計画が、コロナ禍でもそのまま強行されようとしています。独自の感染対策もなく、ワクチン未接種の子どもたちをリスクにさらす無謀な計画は直ちに中止すべきです。

こどもを動員するな！



あなたは
どう
思いますか？

愛知県でも感染拡大しており医療体制が深刻化しています。報道の一部を紹介します。

★愛知県医労連が「井看護師の五輪派遣は困ります」と発信したツイッターデモは48万ツイートを突破しました。「今やるべきは五輪開催より医療体制の強化、看護師が働き続けられる環境の整備」と訴えています。

★自衛隊がワクチン接種業務を約37億円で民間委託

【看護師200人】

人材派遣会社「キャリア」

約7億6400万円

【東京会場業務】

日本旅行

約19億4500万円

【大阪会場業務】

トップツアーズ

約9億6700万円

コロナ感染が拡大しているのにオリンピック開催？

聖火リレーって必要なの？

東京では、オリンピックに子ども動員が計画されているの？

医療従事者が大量動員されて、国内の対策は大丈夫なの？

政府とIOCは責任をなすりつけあっている感じ。オリンピック精神とコロナ感染の状況を的確に判断してほしい。

今やるべきはオリンピックピクニックでなく
コロナ感染症対策でしょー！

コロナ感染症対策

